

小論文

水産学部

注意事項

1. 「解答始め」の合図があるまでこの冊子は開かないこと。
2. この冊子は、表紙を除き2ページである。
3. 「解答始め」の合図があったら、まず、掲示又は板書してある問題冊子ページ数・解答用紙枚数・下書き用紙枚数が、自分に配付された数と合っているか確認し、もし数が合わない場合は手を高く挙げ申し出ること。次に、受験番号・氏名を必ず解答用紙の指定された箇所に記入してから、解答を始めること。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に横書きで記入すること。

問

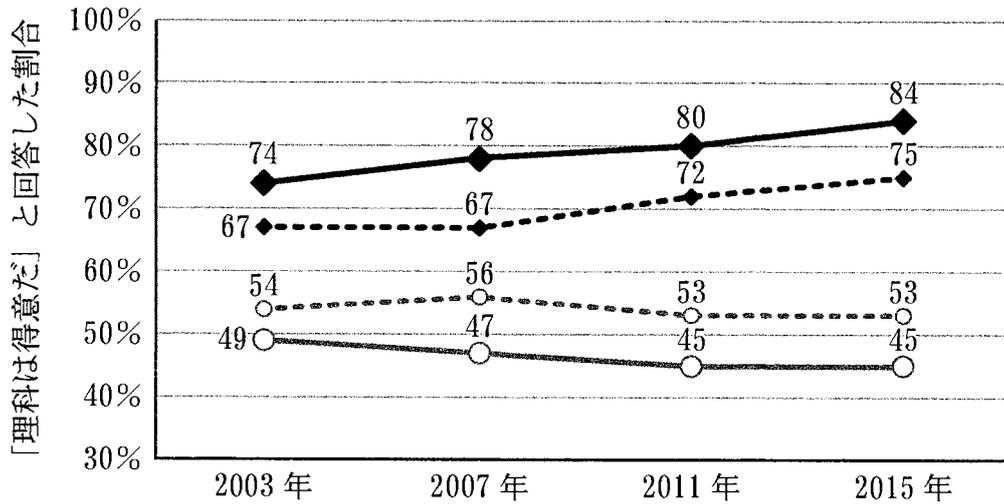
図は、「国際数学・理科教育動向調査」に基づき、文部科学省が作成した資料である。この図から読み取れることを簡潔に述べよ。また、それを踏まえて日本の理科教育はどうあるべきか、あなたの考えを具体的に述べよ。さらに、その考えを実現するための取り組みについて、理由も併せて述べよ。(500字以内)

注1：「小学校」は、日本の小学校4年生の児童、「中学校」は日本の中学校2年生の生徒である。

注2：図は「理科は得意だ」と回答した児童生徒の割合を示すものとしているが、実際の質問項目は「理科は苦手だ／得意教科ではない」であり、この質問に対して「まったくそう思わない」「そう思わない」と回答した児童生徒の割合をグラフにしている。

図 「理科は得意だ」と回答した児童生徒の割合と年次推移

◆— 小学校 -◆- 小学校国際平均 ○— 中学校 -○- 中学校国際平均



出典：文部科学省「国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）の調査結果」国際数学・理科教育動向調査（TIMSS2015）のポイント（平成28年12月）より抜粋改変。